平成29年度　横浜市立宮谷小学校　学校だより 8･9月号

みやがや

＜学校教育目標＞

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】
【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】
【体】 お互いの生命と体を大切にし、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】
【公･開】さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしながら、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。
【かかわり合い】

ゴーヤの生長から

副校長　中村　浩子

８月になってから、梅雨のような雨の日が続いたり、なかなか晴れずにどんより曇り空だったり、夏らしい暑い日が多くなく、いつもと違う夏休みと感じた方も多かったかと思います。暑すぎなくて過ごしやすいと感じることもあれば、海やプールに行けずに残念に思うこともあったのではないでしょうか。

ニュースによると、日照不足によりトマトが色づかなかったり、光合成ができずにニラが生長しなかったりと植物は敏感に天候の変化を感じ取っているようです。

そんな中、宮谷小学校の校長室前の花壇では、毎年恒例「ゴーヤ」の緑のカーテンがとても立派に育っています。７月中はなかなか生長せず、また雄花ばかりで雌花が咲かなくて心配していましたが、８月になってからは３階の教室まで届くくらいになり、順調に生長しています。このゴーヤは、緑色の一般的なものと白くて少し苦みが少ない品種の２種類が植えられています。濃い緑色をしたゴーヤ、真っ白で初めて見た時にはこれがゴーヤかと思うようなもの、受粉の関係で、緑色でも、白色でもない薄い緑色のゴーヤと様々な色のゴーヤができます。また、ごつごつと凸凹の激しいもの、筋がすうっと通ったもの、収穫したゴーヤを並べると同じサイズ、色、模様のものはありません。でも、どのゴーヤも少し苦みがありながら、とてもおいしいゴーヤです。

ここまで生長するには、肥料の量を考えながらの土作り、種から育てる苗作り、ゴーヤが蔓を絡ませやすいようなネットはり、そして毎日の水やり、と様々な方が関わってくださっています。夏休み中、宮谷小学校では、このゴーヤだけではなく、うさぎの世話、稲の世話でも「みやがや応援隊」の皆様に協力をしていただきました。普段から、宮谷小学校の活動は、多岐にわたりボランティアの方の協力の上に成り立っていると思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。

夏休み中は、それぞれの地域で夏祭りが盛大に行われていました。地域の皆様の様々な努力で、誰もが楽しめるようにと工夫されているのが参加させていただいた職員の感想にありました。９月２３日（土）には、「ふれあい☆みやがやまつり」が開催されます。軽井沢中学校と宮谷小学校のPTAの皆様を中心として、地域の皆様にもご協力をいただき、盛り上げていきたいと思っています。また、来年度の「創立１１０周年記念事業」に向けて子どもたちが作成した１１０周年のキャラクターも披露する予定です。

今後も、保護者の皆様、地域の皆様をはじめとして、たくさんの方の協力を得ながら、子どもたちの成長のためにがんばっていきたいと思いますので、御協力をよろしくお願いいたします。